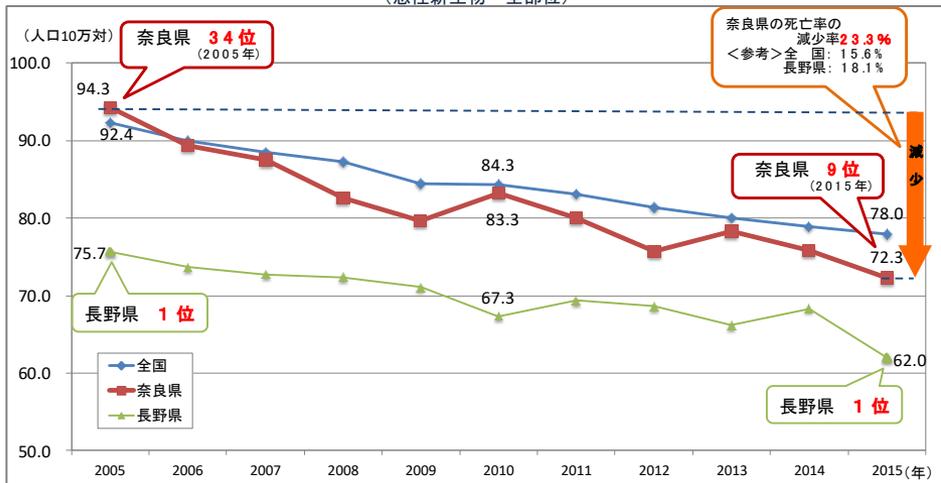


◆奈良県の「がん対策」の現状と課題

がんの死亡率

75歳未満年齢調整死亡率の推移

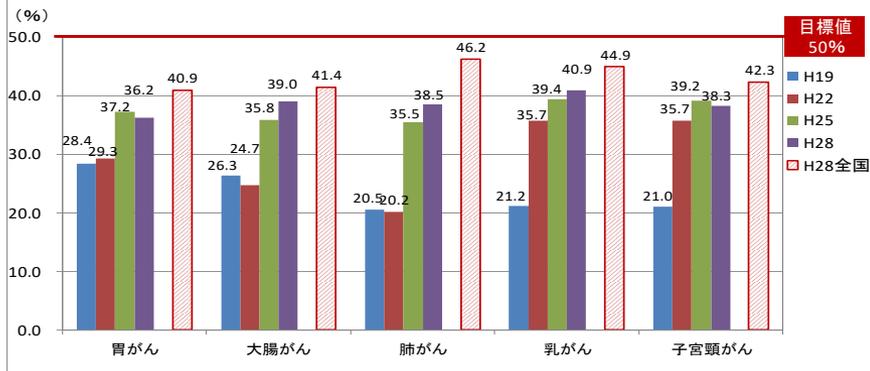
(悪性新生物・全部位)



がん予防・早期発見

- がん検診受診率は、すべてのがんで全国平均を下回っている
- 県民へのがん検診に対する正しい知識の普及啓発及びがん検診を受診しやすい環境整備が必要

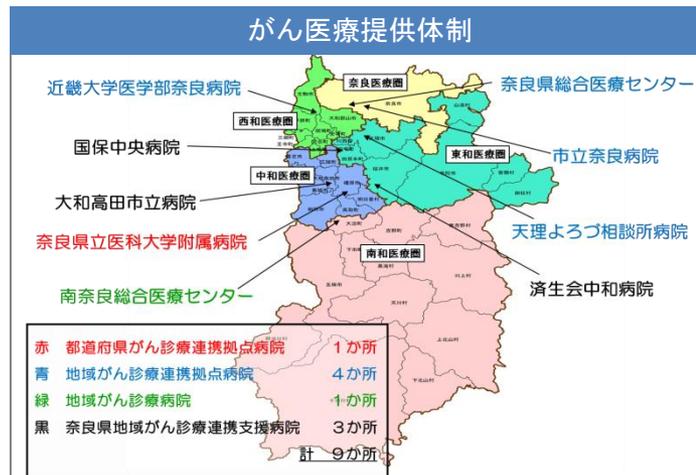
がん検診受診率 (市町村・職場でのがん検診、人間ドック含む)



- 喫煙率は全国一低いですが、ここ数年は横ばい傾向
- 禁煙希望者への禁煙支援体制の充実が必要

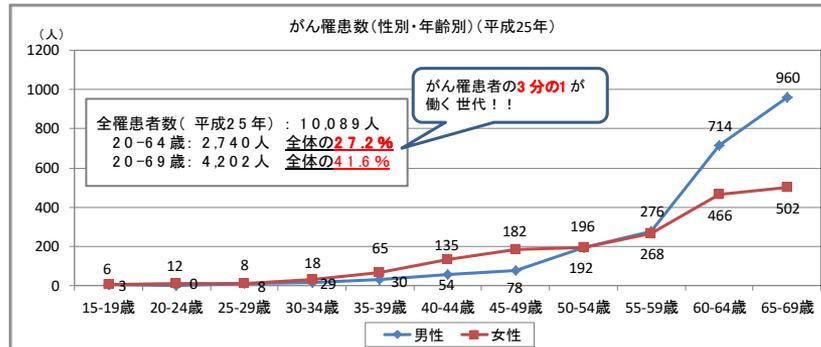
がん医療

- がんの専門的な医療を提供する拠点病院等を9カ所整備
- 専門医等の人材養成や高度医療機器等を整備
- 医療の質(治療成績等)の現状把握と県民への診療情報の提供必要



がん患者支援

- 小児や若い世代など多様化する相談に対応必要
- 治療と仕事の両立相談の周知強化



がん登録等のデータ活用

- 死亡率減少の要因や地域別、がん種別の傾向などデータ分析が不十分

第3期 奈良県がん対策推進計画 概要

【計画の位置づけ、根拠法令等】

がん対策基本法第12条に基づく法定計画
「なら健康長寿基本計画」「奈良県保健医療計画」と整合する計画

【計画期間】

平成30年度から平成35年度までの6年間

【策定の趣旨】

国の第3期計画の考えに基づきつつ、県の第2期計画の現状と課題から必要な取組を明らかにし、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図る

基本理念

がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県

全体目標

めざすところ 「がんで亡くならない県、日本一」

【数値目標】

がん75歳未満年齢調整死亡率 27%減少
72.3 (H27) → 52.8 (H39)

1 がんにならない、がんで若い人が亡くならない

2 すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる

3 すべての県民ががんを知り、がんに向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる

分野別施策

がん予防・早期発見

がん予防

めざす姿：県民ががん予防に取り組み、罹患が減少している。

- ・たばこ対策の充実
- ・健康的な生活習慣の普及
- ・感染症予防の充実

がんの早期発見

めざす姿：県民が質の高いがん検診を受診できている。

- ・がん検診の受診促進
- ・がん検診精度管理の充実 等

がん医療

がん医療の充実

めざす姿：がん患者が、質の高いがん医療を受けることができる。

- ・がん医療提供体制の充実
- ・がん医療の質の向上
- ・患者目線でのがん診療情報の提供
- ・小児・AYA世代のがん医療の連携促進

診断された時からの緩和ケア

めざす姿：がん患者等が、痛みやつらさが軽減され、療養生活に満足している。

- ・緩和ケア提供体制の充実
- ・緩和ケアの理解促進と情報提供の充実

地域連携

めざす姿：がん患者が、自分の望む場所で療養生活を送ることができる。

- ・拠点病院等の地域連携体制の充実
- ・在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実

がん患者等への支援

相談支援・情報提供

めざす姿：がん患者等が、必要な情報を受け取れ、悩みや疑問が軽減している。

- ・相談支援機能の強化
- ・患者目線での情報提供の充実
- ・小児等世代に応じた相談支援体制の整備

がん患者の就労を含めた社会的問題

めざす姿：働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。

- ・がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実
- ・がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備

がん教育・普及啓発

めざす姿：子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がん予防や早期発見に注意を払っている。

- ・中学・高等学校におけるがん教育の充実
- ・小学校（高学年）における啓発活動の推進
- ・がん対策全般に関する普及啓発の推進

がん登録

めざす姿：がん患者ががん登録データを活用した質の高いがん医療を受けることができる。

- ・がん登録の精度向上
- ・がん登録データを活用したがん対策の検討・実施
- ・データを活用した情報提供等

これらを支える基盤整備

奈良県がん対策推進体制について

■協議会、部会の役割について

<協議会>

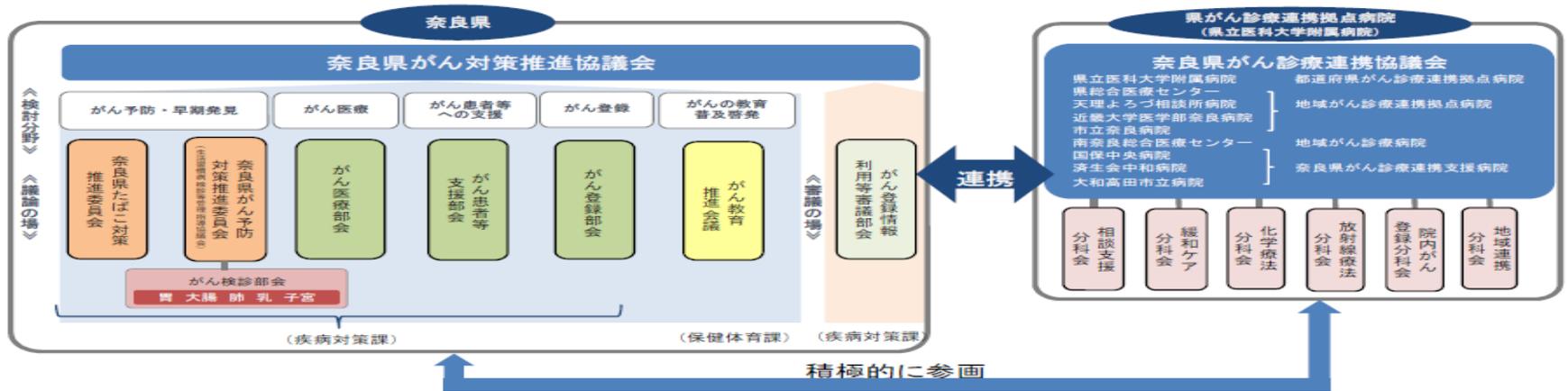
- ・第3期奈良県がん対策推進計画の推進及び進捗状況の評価
- ・分野横断的なテーマやがん対策全般に関わる内容について検討
- ・がん対策や調査研究のためにがん情報を利用提供する場合の審議
(「がん登録等の推進に関する法律」に基づく審議会機能)

■新体制の考え方

- ・奈良県がん診療連携協議会、各分科会と連携する。
- ・第3期計画の主な検討分野に関係する団体等と連携する。
- ・県民の意見を対策に反映させる。
- ・県庁関係各課等と連携する。

<部会>

- ・推進計画の分野別施策を推進し、個別目標を達成するため、具体的な取組を検討
- ・がん対策や調査研究のためにがん情報を利用提供する場合の審議の場として「がん登録情報利用等審議会」を新設
- ・がん予防・早期発見分野は、たばこ対策推進委員会、がん予防対策推進委員会、がん教育分野はがんの教育推進会議で検討



<第3期奈良県がん対策推進計画(平成30年度～35年度)>

主な検討分野[第3期奈良県がん対策推進計画等での項目]		議論の場	連携体制等
1 がん予防・がんの早期発見	(1)がん予防 喫煙 がん予防全般	奈良県たばこ対策推進委員会	
	(2)がんの早期発見	奈良県がん予防対策推進委員会 がん検診部会(胃・肺・大腸・乳・子宮)	
2 がん医療	(1)がん医療の提供	がん医療部会	・化学療法分科会 ・放射線療法分科会 ・緩和ケア分科会 ・地域連携分科会
	(2)緩和ケア		
	(3)地域連携		
3 がん患者等への支援	(1)相談支援及び情報提供	がん患者等支援部会	・相談支援分科会
	(2)がん患者の就労を含めた社会的な問題		
4 がん登録		がん登録部会	・院内がん登録分科会
5 がんの教育・普及啓発		がん教育推進会議	